

小規模企業景気動向調査

[平成28年11月期調査]

～製造業、建設業、小売業で改善がみられるものの予断を許さない小規模企業景況～

2016年12月28日
全国商工会連合会

＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年11月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

＜産業全体＞ ◇…製造業、建設業、小売業で改善がみられるものの予断を許さない小規模企業景況…◇

11月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに改善した。項目別においては、売上額DI、採算DIが小幅に好転、資金繰りDIはわずかな好転となった。製造業、建設業、小売業は全項目が改善したが、サービス業は売上額DIのみ改善となり、業種により差が見られた。経営指導員からは、既存設備の更新に合わせた資金需要に金融機関も積極対応が見られる等の報告がある一方で、地域経済の状況は全体的に厳しい状況が続いており、予断を許さない状況であるとの報告があった。

＜製造業＞ ◇…一部業種で売上が減少するも、食料品や半導体等を中心に先月から大幅好転となった製造業…◇

製造業の業況DIは、先月から一転、大幅改善となった。特に売上額DIは大幅改善となったが、採算DIと資金繰りDIは小幅に留まった。経営指導員からは、時節柄、冬季向けの需要増により食料品製造業が好況であったことや、先月、好況であった金属加工機械製造業に続き、電子回路製造業や半導体メモリメディア製造業でも受注が増加している。一方で、自動運転車関連の企業誘致が決定した地域では、大手企業に比べ給与水準や雇用条件等が不利な地元中小・小規模事業者の人手不足に拍車がかかると危機感を強めている。

＜建設業＞ ◇…公共工事を中心に好調が続くが、人手不足・人件費高騰により収支が悪化する建設業…◇

建設業の業況DIは、先月に引き続きわずかな改善となった。項目別に見ると、売上額DI、採算DI、資金繰りDIはいずれも小幅に改善した。好転材料としては、公共工事の受注件数が増加したことに加え、民間工事ではリフォーム工事に伴う各種工事の増加、積雪地域では冬季前の道路補修や消雪パイプの点検等が行われ、地域を問わず売上が増加している。悪化材料としては、人手不足により、技術者や従業員の確保に苦労している。併せて人件費高騰により収支悪化も常態化しており、建設業界の先行きは依然厳しいものとなっている。

＜小売業＞ ◇…衣料品を中心に冬物への需要が見られるものの、依然として買い控えの傾向が続く小売業…◇

小売業の業況DIは、先月に引き続き小幅な改善となった。項目別においては、売上額DIで大幅改善、採算DI及び資金繰りDIは小幅な改善に留まった。冬物衣料の売上や正月前の季節需要の増加が少しずつ見られるとの報告がある一方で、生鮮野菜や果物、鮮魚等の価格高騰が節約志向とあいまって、売価に反映できず、収益の悪化が続いている。

＜サービス業＞ ◇…先月から一転わずかに悪化に転ずるも、業種により差が見られるサービス業…◇

サービス業の業況DIは、先月から一転わずかな悪化となった。項目別に見ると、売上額DIではわずかに好転するも、採算DIはわずかに悪化、資金繰りDIは小幅な悪化となった。経営指導員からは、宿泊・飲食関連のサービス業では忘年会・新年会の予約が増加傾向で期待が持てる地域がある一方で、材料費高を価格転嫁できず収益悪化を招いていることや、運送業では、クリスマス・正月等の年末商戦を控え、貨物量は増加傾向にあるが、運転手不足が深刻化しており、貨物の配送に間に合わず受注できない企業もあるとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 21.2	▲ 16.5	4.7	▲ 16.5	▲ 11.3	5.2	▲ 9.4	▲ 4.6	4.8
採算	▲ 22.1	▲ 20.0	2.1	▲ 19.2	▲ 17.2	2.0	▲ 18.3	▲ 14.0	4.3
資金繰り	▲ 17.4	▲ 16.0	1.4	▲ 16.6	▲ 13.8	2.8	▲ 15.0	▲ 12.3	2.7
業況	▲ 23.8	▲ 21.9	1.9	▲ 22.3	▲ 17.1	5.2	▲ 16.6	▲ 15.3	1.3

業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 35.5	▲ 28.6	6.9	▲ 23.3	▲ 21.8	1.5
採算	▲ 33.0	▲ 29.2	3.8	▲ 18.0	▲ 19.4	▲ 1.4
資金繰り	▲ 24.8	▲ 22.5	2.3	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 2.1
業況	▲ 33.7	▲ 31.4	2.3	▲ 22.6	▲ 24.0	▲ 1.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

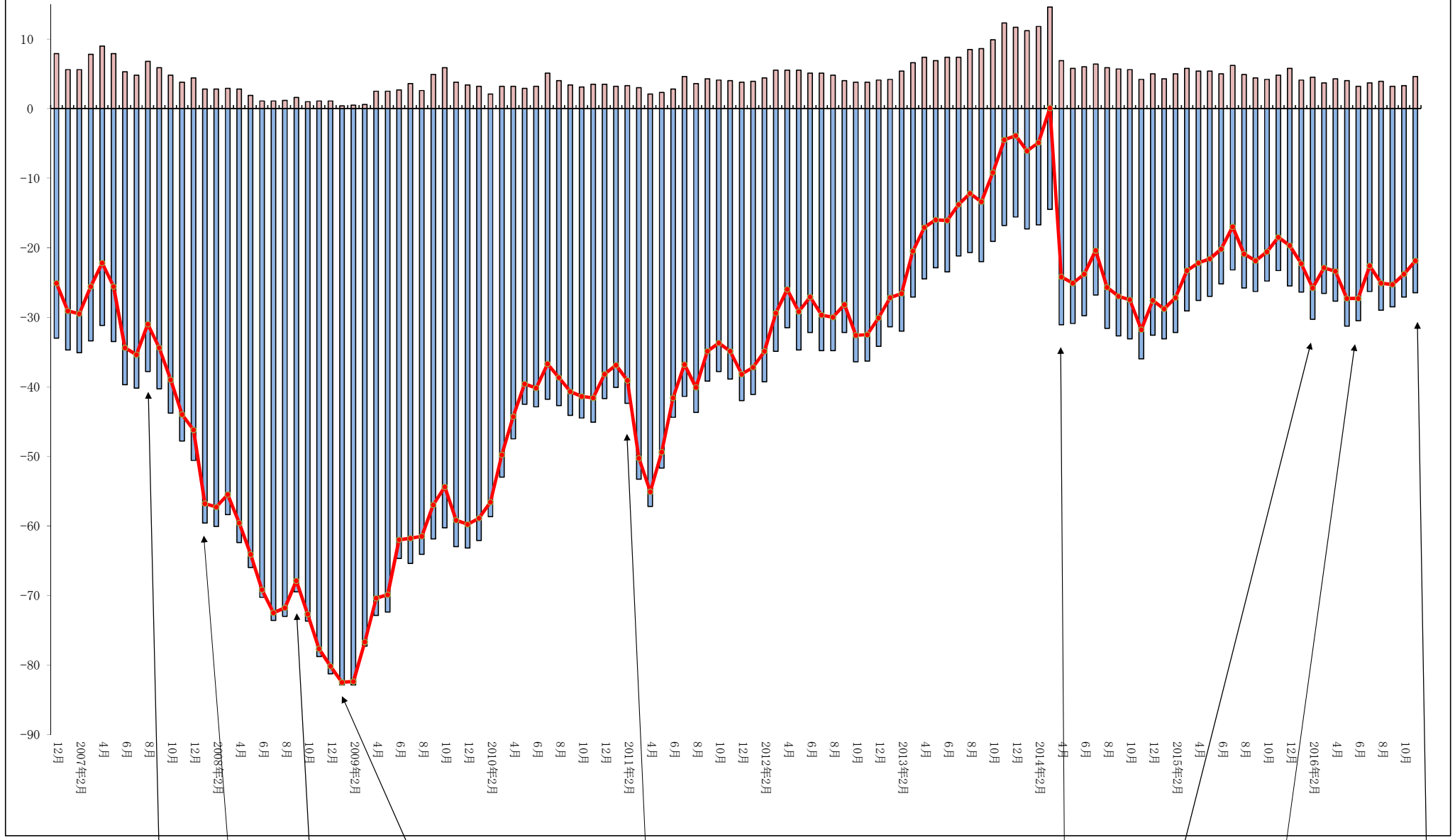
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス金利導入

16年6月23日
英国のEU離脱に関する国民投票

16年/11月
-21.9

小規模企業景気動向調査(11月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・地域全般としては、既存設備の更新に合わせて生産性の高まる設備投資への動きが若干見られ、金融機関も積極対応が見られる。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・融資相談、件数共に大きく変化無く推移している。景気の落ち込みも感じられないので、小規模事業者持続化補助金の申請が始まり、問い合わせが増えてきているので、今後の動向により動きがあるのではと考える。

(埼玉県東松山市商工会)

・君の名は。効果による観光客に秋の行楽の観光客がかわわり、11月は大変賑やかだった。飲食店では行列ができるところもあった。

(岐阜県古川町商工会)

・冬の味覚カニ解禁により町外県外客の増加傾向により観光関連は期待を寄せている。年末に向けての資金需要が若干運転資金の増加。交流人口の増加に地域として期待を寄せている。

(兵庫新温泉町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・景気の低迷により金融機関等の貸出も昨年度よりも低調な傾向が続いている。事業者でも資金需要はあるが融資に関しては慎重な姿勢がある。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・大手家電量販店や衣料品販売店などが出店している影響で、国道沿いの車の往来は非常に多いが、地域の小規模事業者に経済的な恩恵は少ない。

(兵庫県太子町商工会)

・地域の消費に関しては、依然として力強さはなく、造船関係の数年後の需要悪化の見込みや所得の上昇などもなく今後の明るい材料が見当たらない。金融機関は概ね従来通りであるが、一部融資や回収が厳しくなっている場面

(長崎県三重商工会)

・一部の地域では創業についての相談も相次いでいる状況であり、金融機関も柔軟に対応頂いている。業種としては飲食業、小売業が中心である。しかしながら、島内の平均的な景況感としては、回復基調とは言えず、予断を許さない状況である。

(長崎県対馬市商工会)

・景気動向は、先行きが見通せない状況で、横ばい傾向が続いている。天候不順で青果物や魚の不良などから価格は高騰し、買い控えや購入量を減らしたりと消費者の動きはまだ鈍い状況が続いている。求人は増加傾向であるが、雇用まで至らず、人手不足は解消されていない。

(香川県さぬき市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・切削加工関連の製造業は、業績好調で来年1月に法人成りをすることを決断した。自動車関連の製造業が多い当地域だが、建設機械関連の仕事に特化し、好調を続けている。

(静岡県新居町商工会)

・部品加工関連の製造業においては、車関係の部品製造が増加傾向にある。

(福岡県芦屋町商工会)

・食品関係は冬季向けの需要増で活況である。縫製関係は及びその他の製造は需要はあるものの採算的には厳しいものが続いている。

(兵庫新温泉町商工会)

・機械金属製造業:半導体製造装置賃加工の売上額が増加した。

(岡山県浅口商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・地元の既存企業の製造業は全般的に人材が不足している状況が続いている。誘致企業への流れもあり今後も人材確保難が予測される。

(鳥取県八頭町商工会)

・建設機械部品製造業では、親会社の減産を受けて受注量が減少している事業所が増えている。船舶・自動車部品製造業において堅調な動きもあるが、従業員の定着が課題となっている事業所もある。

(香川県高松市中央商工会)

・食料品(水産加工業)において、山陽方面から仕入を行っている業者は、10月の震災の影響もあり、仕入単価の上昇による売値への転嫁が困難となっており、採算・資金繰りが著しく悪化している。

繊維工業は暖冬の影響がアパレル業界全体に活気がなく、クリスマス商戦を前にもう値下げが始まっている。このような先行きの見通しがはっきりとしない状況がしばらくは続くと思われる。

機械・金属に目立った変化は見られないが、工場の稼働率は若干低下しており、売上・採算に悪化の兆候が見

(富山県射水市商工会)

・水産加工関連の食料品製造業は、原料の高騰や原料調達困難により採算性が悪化し生産稼働も縮小している状況にあり、資金繰りや雇用関係も悪化している。

(青森県大畑町商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・来年度以降当商工会地区内で、高規格道路建設工事、治水ダム建設工事、火力発電所2号機建設工事の3つの大型事業が始まることにより、建設業関連事業者を中心に、大きな期待がよせられている。
また、工事関係者の事務所・資材置き場・宿舍建設等の用地確保の動きが活発化している。

(鳥根県石央商工会)

・地震の影響で、墓石店・建設業(建築・左官・内装)を中心として需要が増加。
また、県道・町道・市道の地盤沈下・亀裂修復など、道路舗装を中心とした公共工事が活発である。
鳥取県が復興のために新設した、金利0%の制度資金により、金融機関が活発な動きを見せている。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・熊本地震のグループ補助金の採択が始まったことをうけ、多くの事業所が復旧工事を始めた。その結果建設業の受注は増えている。

(大分県九重町商工会)

・土木関連の建設業は、冬期前の道路補修や消雪パイプの点検等で仕事は増えた。

(新潟県小国町商工会)

・家屋工事関連の建設業は、増築・改築工事が頻繁に行われており、市内中心部を中心に業者の出入りが増加している。

(愛媛県西予市商工会)

・地元の工務店関係はリフォームや付帯する各種工事(庭・水回り等)が増えている。

(秋田県由利本荘市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・土木関連の建設業界は受注は相当確保しておりますが、人手不足と建設資材の高止まりで採算が依然として厳しい現状にあります。また、近い将来公共工事の減少が予想され、不安を感じている建設業者が多くなってきており

(山形県南陽市商工会)

・従業員もぎりぎりの状況で仕事を回している。従業員を増やせば受注も取れるが、経費が高むためできる範囲で受注している。

(茨城県日立市十王商工会)

・建築塗装関連の建設業は、受注は回復しているものの人手の確保が引き続き困難な状況である。

(兵庫県太子町商工会)

・新設工事が減少したことでまとまった売り上げが立たず、同業種間で細かい仕事の取り合いになっていることから、請負価格の低下が続いている。

(千葉県印西市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・衣服関連の小売業は、気候の変化により秋物から冬物への移行が行われており、売上も少しずつ伸びている。

(奈良県平群町商工会)

・プレミアム付き商品券の効果もあり、売上が増えているところもある。

(福島県保原町商工会)

・家電製品販売については、老朽化に伴う買い替えにより比較的堅調に推移している。

(愛媛県双海中山商工会)

・正月前の需要増が少しずつ見られるようであるが、若干緩やかなようである。

(長崎県対馬市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・野菜の価格高騰が続いており、消費者は少しでも安い野菜類を買っていく。また、依然として価格には厳しい消費者が多く、デフレ脱却はまだ見えてこない。

(東京都羽村市商工会)

・生鮮関係の仕入れ値は落ち着いてきたもののこれから年末にかけてまた高騰する。消費者の節約傾向が目立つ。

(茨城県日立市十王商工会)

・酒・食料品小売業の関連では、大型スーパーの出店により店売り、自販機等の売上げが減少しました。

自動車販売修理業の関連では、消費税増税延期により軽四以外の乗用車販売が激減。

(石川県野々市市商工会)

・ガソリン・灯油価格が徐々に上昇傾向にあり、仕入をはじめ諸経費の増加に繋がっており、利益を圧迫している。

(秋田県由利本荘市商工会)

・今年に入り、中規模スーパーの出店や増床が増えており、小規模小売店への影響が徐々に出て来ている。今後、お歳暮や年末年始用品等の売上にも影響があると予想される。

(栃木県黒羽商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・紅葉の時期ということもあり例年通り多くの観光客で賑い、観光関連業種を中心に好況であった。また、熊本地震からの復興のためのグループ補助金の採択が始まったため資金需要が高まっている。金融機関の貸出態度は大分県制度融資などを活用できるため良好である。

(大分県九重町商工会)

・宿泊関連のサービス業は、以前と変わらない状況であるが、年末にかけての忘年会等の飲食が多くなってきている。

(青森県南部町商工会)

・旅館業では、台湾や韓国からの観光客が増えたことにより売り上げは少しずつ増加している。

(香川県高松市中央商工会)

・旅館関連のサービス業は、観光・行楽シーズンもあいまって、売上が伸び、予約が取れないこともある。

(愛媛県西予市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・飲食業界も秋野菜の高騰で、仕入れの工夫を行い地元農家から仕入れを行ったりはしておりますが、なかなか価格転嫁が行えず苦慮しているのが実態です。

(山形県南陽市商工会)

・理美容関連のサービス業は格安のチェーン店が出店している影響で売上が微減している事業所が多くなっている。

(兵庫県太子町商工会)

・クリーニング業では、今後、原油高により材料費、燃料費等が上昇するが価格に転嫁できず利益が減少する。また、国際標準表示が導入されたが、今後、新しい衣料品は注意が必要。

(石川県野々市市商工会)

・県内で飲食店の中でも飲み屋さん(スナック的な店)が今月だけで14店舗も閉店をしたとカラオケメーカーから聞いた。原因として携帯で遊ぶ方が幅広い年齢層まで広がっており、夜の時間の使い方に変化がでてきている状況になった。

(奈良県田原本町商工会)

・運送業は、年末商戦を控えて、貨物の量は増加傾向にあるが、運転手不足が深刻化で貨物の配送に間に合わない場合もあり、受注できない場合もある。

(香川県さぬき市商工会)